

麹菌発酵大豆培養物（イムバランス）における小児アトピー性皮膚炎への有効性を確認

ーNPO法人 アレルギー支援ネットワークとの共同研究成果を
「アレルギーの臨床 2016年36巻4月号」に論文掲載ー

ニチモウバイオティックス株式会社（本社：東京都品川区。ニチモウ(株)100%子会社）は、NPO 法人 アレルギー支援ネットワーク（名古屋市中村区）と共に、当社の開発素材である麹菌発酵大豆培養物（商品名『ImmuBalance[®]』（イムバランス[®]）※）を用い、小児アトピー性皮膚炎に及ぼす影響に関する研究を、あいち小児保健医療総合センター（愛知県大府市）アレルギー科にて行った。

先行研究では、小児アトピー性皮膚炎患者において、『イムバランス』（I）および（I）にビフィズス菌を加えた試験食（IB）による症状緩和効果を検討し、症状スコアの改善がみられることを報告した。今回の試験では、先行研究の（I）群 11 名に 7 名の症例を追加し、18 名対象として検討を行った。

その結果、SCORAD、客観的 SCORAD のほか、症状と薬剤使用量の推移を評価する M-S score のいずれも有意な改善がみられた。全観察期間において明らかな副作用は認められなかった。

『イムバランス』の摂取が小児アトピー性皮膚炎を改善する可能性が示唆された。この研究成果は、2016 年 3 月 22 日に発行された「アレルギーの臨床 2016 年 36 巻 4 号」に論文掲載された。

【主な研究実績】

■麹菌発酵大豆培養物及びビフィズス菌が小児アトピー性皮膚炎に及ぼす効果に関する研究～パイロットスタディ～. アレルギー・免疫, 22: 96-102, 2015.

■Supplementation of the fermented soy product ImmuBalanceTM effectively reduces itching behavior of atopic NC/Tnd mice. (日本語：アトピー性皮膚炎自然発症（NC/Tnd）マウスを用いた発酵大豆培養物『イムバランス』のアトピー性皮膚炎の痒み改善効果) *Journal of Dermatological Science* 67: 130-139, 2012.

■Therapeutic effects of a fermented soy product on peanut hypersensitivity is associated with modulation of T-helper type 1 and T-helper type 2 responses. (日本語：ピーナツアレルギーモデルマウスに対する麹菌発酵大豆培養物の療法的な効果は、Th1 型反応および Th2 型反応の調節と関連している) *Clinical and Experimental Allergy* 38: 1808-1818, 2008.

■Effects of a novel symbiotic, ImmuBalance a food supplement in relieving clinical symptoms of Japanese cedar pollinosis: A pilot study. (日本語：スギ花粉症の臨床症状緩和における新規栄養補助食品素材『イムバランス』の有効性：パイロット研究) *Clin Exp Pharmacology Physiology* 34: S73-S75, 2007.

※ 『ImmuBalance[®]』：脱脂大豆を原料に、ニチモウ独自の麹菌発酵技術によって製造された麹菌発酵大豆培養物である。 製造特許〈ニチモウ〉：日本特許：2696057 号、3014145 号、US Patent 5885632、EP Patent 0682877.



記

【論文概要】

「麹菌発酵大豆培養物（イムバランス）が小児アトピー性皮膚炎に与える影響」

あいち小児保健医療総合センターアレルギー科

田島巖 中川朋子 杉浦至郎 榎村春江 漢人直之 伊藤浩明

認定 NPO 法人アレルギー支援ネットワーク

榎村春江 中西里映子

ニチモウバイオティックス株式会社

重廣宗一郎 潘偉軍

【背景】

麹菌発酵大豆培養物（イムバランス）は、マウスでのアトピー性皮膚炎（AD）発症抑制効果のほか、ビフィズス菌との同時摂取によって小児の AD 症状スコアを改善することが確かめられている。しかし、対象者数が少なく、イムバランス単独摂取の小児 AD に対する有意な影響は確かめられていない。

【目的】

小児 AD 患者において、イムバランスを加えた試験食による症状緩和効果を検討する。

【方法】

2012年12月、2014年12月の計2ヶ月間に当科を受診した1～5歳のAD児18名（先行研究症例11名、追加症例7名）にイムバランス600mg/日を24週間摂取させた。継続的に試験食を摂取できた16名を対象とし、SCORADおよび症状などに関する独自作成のアンケート（全9問、5段階評価）、ステロイドスコアについて検討した。

【結果】

摂取開始前と比較して、SCORAD(p=0.003)、客観的SCORAD(p=0.01)の中央値が有意に低下した。また、アンケート合計点数(p=0.027)、M-S score(p=0.003)も有意に改善しており、ステロイド使用量の減少とともに症状スコアも改善したことがわかった。全期間で明らかな副作用は認められなかった。

【結論】

イムバランスの摂取は小児ADを改善する可能性が示唆された。

『ImmuBalance[®]』は、プロバイオティクス作用だけではなく、プレバイオティクス作用および直接生体に作用するバイオジェニクス作用を有していることから、それら3つの作用の相乗効果によりアレルギーから脱感作（過敏性を除去）させる。そのアレルギー脱感作は、一般の乳酸菌製品より顕著な効果を期待できると思われる。当社は、この新規の機能性素材を、アトピー性皮膚炎や花粉症、食物アレルギーやなどアレルギー疾患に困っている人に届けたいと考えている。

以上

【お問合せ先】ニチモウバイオティックス（株）営業部（03-3458-3510）までご連絡ください。
本リリースは、ホームページニュースでもご覧になれます。